

地域の わ 通信

Kanagawa-ku
Chiiki ryoku

神奈川区の庁舎内向けに、区内の地域情報や地域支援に関わる業務などを紹介します。

区政推進課 地域力推進担当 411-7026

第4期 神奈川区地域づくり大学校

第1講

～出会いから始まる地域づくり～

私たちのまち、
神奈川区を知る



「住んでいて良かった！」と思える地域を自らの手で実現するため、地域課題を解決する手法を区内外の事例を交えて学び合う「神奈川区地域づくり大学校」（以下、「大学校」と言います。）は、4期目を迎えました。今期も自治会町内会等の地域活動を支える人材を育成することをテーマに、講義、グループワーク、現地見学から地域づくりを実践的に学んでいく全6回となっています。第1講は、開校式とゲスト講師による講義があり、受講者（町内会推薦と一般公募）は、これからはじまる大学校へ期待を寄せていました。

第1講 概要

日時：9月30日（日）9:30～14:30

場所：神奈川区役所

主催：神奈川区連合町内会自治会連絡協議会
認定NPO 法人市民セクターよこはま
神奈川区役所

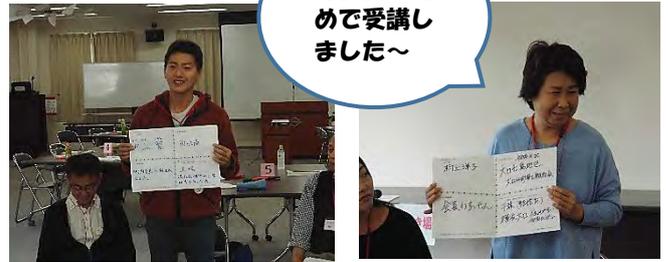
協力：社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会

受講者：20名（当日参加は15名）

当日のプログラム

- ・開校式
- ・受講者による自己紹介タイム
- ・講義「神奈川区の地域づくりに向けて」
富井 亨 氏（神奈川区社会福祉協議会）
- ・ランチ交流会
- ・講義「あらためて考えてみる地域の活動」
石井 大一郎 氏（国立大学法人宇都宮大学 地域デザイン部 准教授）
- ・グループワーク「今、気になる地域のことを出し合ってみよう」

開校式 ・ 自己紹介タイム



開校式では、協働した3者から挨拶があり、「大学校をきっかけに地域での仲間を増やしてほしい」との激励がありました。その後、初回の緊張をほぐし、受講者同士が知り合うために、自己紹介タイムを設けました。受講者全員で輪になり、①住んでいる町名 ②名前 ③受講動機 ④私のふるさとを、紹介しました。アイスブレイクとして設けた④のふるさとに関するそれぞれのエピソードが面白く、和気あいの雰囲気の中、初回をスタートすることができました。

講義①「神奈川区の地域づくりに向けて」

(富井 亨 事務局長)



区社協の富井事務局長から、地域の困り事を知り、これからの暮らし方のヒントにしてほしいと、横浜の地域組織の歴史、地区社協の活動、そして神奈川区が抱える課題などをお話いただきました。受講者は、「助けてと言える日本人は少ない」「少子高齢化、単身世帯が増加しており、地域で支え合うつながりを構築する必要があると思った」「区社協の役割がわかった」などの感想があり、多くの気づきを得た講義になりました。

講義②「あらためて考えてみる地域の活動」

(石井 大一郎 准教授)



自治会町内会などの地域活動に必要な「知る」「聴す(ゆるす)」「連携する(協働する)」を、具体例を交えながら説明をしていただきました。また、現代の自治会の機能を7種類に分け、すべての人が関わる自治の始まりは環境美化機能であること、減災防災をキーにして地域総ぐるみの防災まちづくりが増えていることなど、興味深い話が続きました。

グループワーク「まちの歴史と資源を地域づくりの礎に」



市民セクターの吉原事務局長から「地域の魅力・宝は、欠点の裏返しだったりするがそこに深い魅力が隠れていることが多い。地域の課題解決にばかり気を取られると、マイナスを0にする発想になりがち。歴史・特色を踏まえたまちづくりは、過去に何があったかを知ると、未来も見えてくる。」など、話をいただきました。その後、エリア別のグループになり、「地域の魅力や課題」「地域でやってみたいこと」のテーマで意見交換をしました。



受講者からは「課題が明確になり取り組みやすくなった」「意見交換が楽しかった」「『イイね』を記入するのが面白かった」などの感想がありました。

ランチ交流会



松本商店街の中にある「みんなの食場」のお弁当を食べながら、ワイワイ、みんなと同じものを食べ、会話も弾みました。

